

2023. 11. 27 避難計画を案ずる関西連絡会

11月26日、京都府の原子力防災訓練があり、監視行動をしました。スクリーニング・除染会場となった京都府福知山市の三段池公園での訓練を監視しました。京都府、福井県、大阪府から8名が参加しました。前日25日から訓練の設営などは業者に委託していました。25日の設営状況も視察しました。

また別に、宮津市の一時集合場所の訓練監視に宮津市、京都市から4名が参加しました。栗田小学校には約100名の住民が集まり、簡単な問診、安定ヨウ素剤の説明資料等が渡され、通行証とヨウ素剤に見立てた飴もらうだけでした。その後40名程がバスで三段池公園に向かい、約60名は、そこで訓練は終わりました。

ここでは、26日の三段池公園の訓練の特徴と写真を、速報でお知らせします。

○訓練の設営等は前日から業者に委託。これで訓練になるのか

○住民の検査：全員の検査なし

ベータパネル（頭、顔、手の甲とひら、靴底）で一人5秒の検査
設定値は4万cpmで高すぎる。（小児の甲状腺被ばく量300mSvに相当）

○バスの除染：流水除染を実施したが、側面のビニールの隙間から汚染水が漏れる

○自家用車の除染：除染は紙タオル（紙ウエス）で拭き取るだけ
入口と出口が同じ。除染してもまた汚染される

